

事業事前評価表

国際協力機構 民間連携事業部 海外投融資課

1. 基本情報

国名：カンボジア王国（カンボジア）

案件名：地方部農業セクター支援事業

（アジア諸国向け金融包摂促進ファシリティ案件）

Rural Area Agricultural Sector Supporting Project in Cambodia

L/A 調印日：2022 年 5 月 13 日

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における農業セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

カンボジア経済における農業セクターの重要性は大きく、2019 年で同国の GDP の 22.1%、雇用の 32.3%（2.99 百万人）を占めている。貧困層（1.5 百万人。2020 年の貧困率で計算）の 90%は地方に居住していると言われていたが、地方住民の 78%が農業従事者とされ、地方での収入は都市部の 50-60%に留まるといった格差がある。（出典：ADB、プノンペンポスト）。さらに、COVID-19 の影響で、2020 年の前半だけで同国全体で 40 万人が職を失い、内 10 万人は地方から都市部で働いていたが地方に戻ったと推計されており、地方での雇用創出も課題となっている（出典：ADB、2021 年 7 月時点）。同国の持続的経済成長と貧困削減、COVID-19 による失業者の受け皿という観点で、農業セクターの成長とそれを通じた雇用創出が重要となっている。

一方、農業セクターにおいては労働生産性の向上が課題の一つと言われている（2021 年時点、出典：ADB）。生産性向上の制約としては交通、情報・技術・金融のアクセス等があり、このうち金融アクセス改善は農業資機材、高品質の種子、必要な肥料購入等を通じて労働生産性の向上に寄与するが、同国農業セクターにおける金融アクセスは同国全体の融資額の 9.4%（2018 年時点。出典：ADB）のみに限られ、53%の農民は金融にアクセス出来ていない状況にある（2016 年時点。出典：同国中銀）。

こうした状況下にあって、本事業は同国の地場金融機関 ACLEDA 銀行への融資を通じて農業セクターにおける金融アクセスの改善を図るもの。カンボジア政府は「国家戦略開発計画 2019-2023 年」（National Strategic Development Plan: 2019 - 2023）の中で、雇用の受け皿、貧困の削減、地方部の開発の観点で、農業セクターが重要としており、農業セクターにおける課題として、労働生産性の向上、製品の品質の低さ、サプライチェーンや灌漑設備の整備が十分でないことなどを課題として挙げている。同国農林水産省は「2030 年までの農業セクター開発の為のマスタープラン」（Master Plan for Agriculture Sector

Development towards 2030)、「農業セクター戦略開発計画 2019-2023 年」(Agriculture Sector Strategic Development Plan 2019-2023)を通じて、同国政府の課題に対して取り組んでおり、本事業は当該セクターの課題やカンボジア政府の方針に合致している。

(2) 当該国農業セクターに対する我が国及び JICA の協力量針等と本事業の位置づけ

我が国の「対カンボジア国別開発協力量針」(2017 年 7 月)では、重点分野の(1)として産業振興支援を柱として掲げ、地方部における主要産業である農業振興に取り組むとしており、本事業は同方針に合致する。また本件は、ASEAN 地域のカンボジアにおける金融アクセスを改善し、女性・低所得者・中小零細企業等のエンパワーメントを目的とした金融機関への融資であり、「対 ASEAN 海外投融資イニシアティブ」に該当する。JICA は、これまで技術協力「種子生産・普及プロジェクト」(2017 年～2022 年)、技術協力「ビジネスを志向したモデル農協構築プロジェクト」(2014 年～2019 年)などを通じた農業セクター支援に加え、円借款「国道 5 号線改修事業」(2014 年 L/A 調印)、無償資金協力「国道 6 号線シアムリアップ区間改修計画」(2000 年 E/N 署名)等を通じて、国道道路インフラを整備し、農業のサプライチェーン支援を実施している。また、ACLEDA 銀行はジェンダーバランスへの配慮により、女性経営陣の積極的登用を実施しており、本事業は 2X Challenge への貢献も期待されるもの。

3. 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、同国において、大手金融機関 ACLEDA への長期融資を行うことにより、中小農家を中心に同国の農業セクターにおける金融アクセスを改善し、以って同国における農業生産拡大、農民所得の向上、及び雇用の維持・拡大に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト／対象地域名

カンボジア全土

(3) 事業内容

ACLEDA への長期融資を通じて中小の農家を中心に農業セクター(農家、MSME)に対する貸付を促進する。

(4) 資金計画

135 百万米ドル

(5) 事業実施体制

1) 借入人：ACLEDA Bank plc.

2) 事業実施機関：ACLEDA Bank plc.

(6) 環境社会配慮・横断的事項・ジェンダー分類

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境や社会への望ましくない影響が最小限と判断されるため。

③ その他：主な資金用途は農業生産に必要な設備投資資金

2) 横断的事項：特になし。

3) ジェンダー分類：

【ジェンダー案件】 ■GI (S) (ジェンダー活動統合案件)

<活動内容/分類理由>

ASEAN 地域のカンボジアにおける金融アクセスを改善し、女性・低所得者・中小零細企業等のエンパワーメントを目的とした金融機関への融資のため。

(7) その他特記事項

本事業は、2021年3月30日に導入された SMBC と JICA の協調融資におけるサステナブルファイナンス・フレームワークの適用案件。

4. 事業効果

(1) 定量的効果

指標名	基準値 (2021 年)	目標値 (2025 年)
農業セクター向け融資残高	1,094 百万ドル	1,611 百万ドル
JICA 貸付実行により融資を受ける借入人数	0	12,000 件

(2) 定性的効果

農業セクターの金融アクセス改善

(3) 内部収益率

本件はバンクローン案件であるため、EIRR（経済的内部収益率）及び FIRR（財務的内部収益率）は算出しない。

5. 前提条件・外部条件

特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

パラグアイ国「農業部門強化事業（Ⅱ）」の事後評価結果において、事業目的

に合った融資スキーム設定の重要性が指摘されている。仲介金融機関の審査条件を満たせず、当初意図した対象に融資が届かなかったことが指摘され、仲介金融機関の融資条件を妥当な水準に設定することが重要であるとの教訓を得ている。本事業では、審査を通じて ACLEDA の融資審査条件を確認し、想定している農業セクターへの融資が行われる蓋然性が高いことを確認した。

7. 評価結果

本事業は、カンボジアの開発課題、開発政策、並びに、我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、農業セクターの金融アクセス改善を通じて貧困削減に資することから、SDGs ゴール 1（貧困を無くす）、ゴール 2（持続可能な農業）、ゴール 5（ジェンダー平等の達成）、ゴール 8（金融サービスへのアクセス改善）に貢献するものであり、支援の意義は大きい。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標
4. のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール
2026 年に事後評価予定。

以 上